

ほかにあるよ！  
三浦梅園について学べる施設

梅園の里 天球館

三浦梅園が見た星空に思いを馳せて



太陽観察や星空観察が出来る天文台。「天球館」の名は、資料館に収められている三浦梅園自作の天球儀に由来。大分県内最大級の天体望遠鏡で、神秘的な宇宙の美しさを体験できます。

三浦梅園旧宅



国指定史跡。三浦梅園が自ら設計したとされる安永4年(1775年)の頃に建築、その晩年の十数年間起居した家。建坪約189平方メートル。今でも、三浦梅園が筆をとった設計図が本箱の蓋に残されており、この家への三浦梅園の思い入れが、薄れた墨跡から伝わってきます。



三浦梅園私塾跡



三浦家墓地



天空シアターでは三浦梅園の生涯や旅、時代をわかりやすくまとめた約10分の短編映画が3本上映されています。三浦梅園を1から学びたい方におすすめ。



エントランスホールには天球儀を模した Monument が。中をのぞくと、幼少期の三浦梅園が疑問に思ったことや考えなどを学ぶことができます。



国指定重要文化財を含む、三浦梅園旧宅に保存されていた遺稿を子孫の三浦家の方からお借りして保管・展示しています。

三浦梅園資料館には、展示していない資料を適切な温度・湿度で保管しておく収蔵庫があります。収蔵庫内は非公開ですが、定期的に展示替えを行っていますので、普段は見ることのできない貴重な資料を見に、ぜひお越しください。

梅園先生は毎日3度、ご先祖様のお墓参りを欠かしたことがなかったと言われています。皆さんも梅園先生になったつもりで、三浦家のお墓を訪れてみませんか。

市文化財課 管理係  
学芸員  
桐畑 涼平

人生を重くし  
浅くし  
出た  
山  
美  
自  
然

天地と師とす 壮大なる梅園先生のメッセージに  
耳を傾けてみよう

豊後聖人・三浦梅園が生まれ育った安岐町富清にある「三浦梅園資料館」。資料館には、三浦梅園の生涯を短編映画から学べる「天空シアター」や国指定重要文化財を含む多くの資料が並ぶ展示室などがあり、三浦梅園の生涯や功績などを深く学ぶことができます。展示室では、三浦梅園の業績を哲学や科学などの6分野に分けた説明パネルを置き、展示品を解説しています。また、資料館周辺には、三浦梅園旧宅や梅園私塾跡、三浦家の墓地があり一帯を見学することもできます。今年で生誕300年を迎えた三浦梅園。ぜひ、資料館に足を運び三浦梅園の考え方や功績を学んでみませんか。



梅園三語

- 三浦梅園遺稿 『玄語』〔個人蔵〕
  - 三浦梅園遺稿 『贅語』〔個人蔵〕
  - 三浦梅園遺稿 『敢語』〔個人蔵〕
- ※上記3点いずれも国指定重要文化財

三浦梅園の著書である『玄語』『贅語』『敢語』の3冊のことをいいます。『玄語』は、三浦梅園が発見した「条理」についてまとめたものです。『贅語』は、条理学の考え方を、それまでの学者の考え方と比べて、その違いを詳しく説明したものです。『敢語』は、条理学の立場から見て、道徳や政治をどのように実行したらよいかを述べたものです。



天球儀

三浦梅園遺稿 付 天球儀〔個人蔵〕  
※国指定重要文化財

天球儀とは、地球を取り巻く天空を一つの球に見立て、その表面に多くの星を書き入れたものです。旧宅に置かれていたもので、三浦梅園が一度目の長崎旅行を終えたのち、何度も修正を重ねて完成させたといわれています。



|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 住 所   | 国東市安岐町富清 2507-1<br>☎0978-64-6311 |
| 開館時間  | 午前9時～午後5時                        |
| 観 察 料 | 中学生以下 200円<br>高校生以上 300円         |
| 休 日   | 毎週月曜日<br>(祝日開館、翌日に閉館)<br>年末年始    |